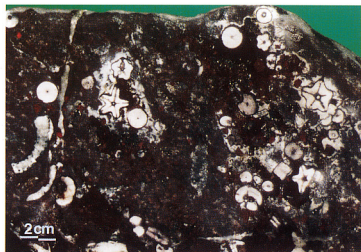


梅花石：福岡県指定天然記念物

福岡県北九州市門司区白野江の青浜海岸は、「梅花石」として知られるウミユリの化石が産することで有名である。母岩(暗赤色-黒色の凝灰質石灰岩または極細粒の玄武岩火山砕屑岩)の表面に、ウミユリの茎の断面が白色の梅の花びらの様に浮き出て見える(口絵1)、この梅花石はその美観とともに地質学的に貴重なものとして、昭和37(1962)年に福岡県の天然記念物に指定された(口絵2)、このウミユリ化石の詳細な記載はまだなされていないが、共産するフズリナ化石やサンゴ化石などから、古生代(おそらく石炭紀)であると推定されている。

<地質調査所 地質部 中江 訓>



1. 地質調査所標本館所蔵の梅花石
(Heterocrinidae gen. et sp. indet.)
(標本番号GSJF5799).



2. 青浜海岸に設置された天然
記念物指定の石碑と案内版。

中央構造線の大露頭

道路工事の際に出現した中央構造線(根来断層)。南に面した道路切り取り面において、上部白亜系の和泉層群(I)と第四系の苜蓿谷層(S)が見掛け上、逆断層で接する。現在はモルタルでコーティングされ、3ヵ所の観察窓が設置されている。和歌山県那賀郡岩出町の根来寺東方。写真提供は、神戸大学理学部 宮田隆夫教授、1981年2月11日撮影。(本文 26-28頁の20万分の1地質図幅「和歌山」を参照) <地質調査所 地質部 栗本史雄・牧本 博>

